

学校だより



令和1年8月27日
横浜市立二谷小学校
校長 石川 秀子

ともあり えんぼうよりきたる

学校長 石川 秀子

雨続きの7月から、今年もまた暑さが厳しい8月となりました。皆様の体調はいかがでしたでしょうか。連日、熱中症予防情報が出されて、嚴重警戒を呼びかけられる毎日でした。7月31日に行われた神奈川県水泳大会も、暑さ対策に配慮した大会となりました。区水泳大会は、他校の友達と競い合う場を設けることで緊張感や記録を伸ばす達成感を味わう機会になります。また、自校の友達だけではなく参加者みんなを応援し、交流を深める機会でもあります。しかし今年度は安全を第一に考えて、子どもたちは自分が出場する競技の時だけプールサイドに待機することになりました。子どもたちの頑張りや、プールサイドにいる私たち教職員が見守り、応援する形で行われた大会となりました。

長い夏休みに、子どもたちはたくさんの経験をしたことでしょう。この期間は、私には久しぶりに友達に会う機会でもありました。ある時期を一緒に過ごし、共に学び、たわいのないことに笑い合ったり、憤慨したりしながら過ごした仲間は、長い年月を経ても普通に呼び合うことに何の違和感もありません。

一別以来長い年月が経ち、それぞれに経験してきたことも違えば、また感じ方やものの見方も変わってくるのは当然です。でもそれが面白いものです。「また会いましょうね」は温かい言葉で、これからの元気を生んでくれます。

さて、子どもたちも毎日学校や地域でいろいろな友人関係を築いています。夏休み明けに、久しぶりに友達と会うことを楽しみにしている子どももいることでしょう。一緒にいると楽しくて、笑ってられる時があれば、気が合わなかったり、意地を張り合ったりすることもあるでしょう。いつもべったり一緒だけが仲よしなのではなく、「へえそんな考えもあるのか。」「こんなことができてすごいな。」「意外な苦手もあるんだな。」など、お互いに発見を重ね合うことで友達関係も深まっていくのではないのでしょうか。

子どもが体験することは、楽しいこともあれば悲しいことも嫌なこともあります。一つ一つの出来事を真摯に受け止めるとともに、一喜一憂せずに長い目で感じてとらえるようにもしていきたいと思います。

8月は、今までの歴史を振り返る機会が多い月でもあります。8月15日終戦記念日。8月6日広島、8月9日長崎への原爆投下。遡っての5月沖繩戦。今から74年前に戦争の時代が確実にありました。令和になり、実際に戦争を体験された方々は御高齢となります。今を生きる子どもたちも私たちも、知ろうとする力、想像する力、自ら考え判断する力を、高めていきたいと感じる盛夏です。

まだまだ厳しい暑さが続くと思われます。地域・保護者の皆様も健康に留意されお過ごしください。今月もよろしくお願いたします。